

「食育推進計画（第3次）H29～H33」に基づく平成29年度の取組



食育をめぐる現状

- 朝食摂取の割合は20歳代（男性51.4%、女性69.2%）が他の世代より低い
- 人口減少、高齢者世帯、ひとり親世帯の増加等家族形態の多様化
- 食塩摂取量は男性11.0g、女性9.4g、全国平均（男性11.3g、女性9.6g）より少ないが目標（8g）には達していない
- 壮年期のメタボ該当者は年代上昇とともに増加
男性：40歳代13.9%→50歳代22.7%→60歳代27.4%
女性：40歳代1.9%→50歳代4.4%→60歳代8.0%
- 食育に関心のある人は86.8%、実践者は47.4%

食育をめぐる課題

- 若い世代の食育力の強化
 - ・食に関する知識と実践力の向上
 - ・次世代（親から子）へ伝え繋げる食育
- 多様な暮らし方を支援するための食育推進
 - ・家庭状況やライフスタイルの多様化に応じた豊かな食体験と共食の推進
 - ・健康寿命の延伸につながる減塩等の推進
 - ・生活習慣病や低栄養の予防・改善
- 食や「農」への理解を促進するための食育推進
 - ・風土や農山漁村への理解促進
 - ・食文化の継承と創造
- 食育活動の充実に向けた連携推進体制の充実
 - ・食育活動に取り組むボランティア等組織強化

健康寿命の延伸に向けた食育推進

第2次計画（H24～H28）の取組実績の評価

第2次計画で設定した目標（22指標36数値目標）のうち、「地域と連携した食育活動に取り組む組織・団体数」や「楽農生活交流人口数」は増加するなど、8項目が目標達成、15項目は改善したが、「朝食をほぼ毎日食べる人」など13項目は進捗が見られなかった。

柱1 健全な食生活の実践

（◎：目標値達成、○：計画時と比較して向上、▲：計画時と比較して進捗なし）

指標	計画策定時	目標値	実績値	評価
朝食をほぼ毎日食べる人 (20歳男性)	64.7%	71%以上	51.4%	▲
(20歳女性)	70.0%	77%以上	69.2%	▲
食事づくり（買物・調理・後片付け）に参加する人 (15歳以上男性)	26.7%	40%以上	67.5%	◎
(15歳以上女性)	81.7%	95%以上	90.2%	○

柱2：「農」と農の営みを支える活動の推進

指標	計画策定時	目標値	実績値	評価
楽農生活交流人口数	1,081万人/年	1,100万人/年	1,153万人/年	◎
直売所等利用者数	18,949千人/年	25,000千人/年	23,842千人/年	○

柱3：ひょうごの食文化の継承と創造

指標	計画策定時	目標値	実績値	評価
地域の行事食、郷土料理を知っている人	64.9%	80%以上	41.4%	▲
〃 作ることができる人	27.1%	30%以上	18.4%	▲
地元や県内でとれた農林水産物を買っている人	58.0%	70%以上	71.7%	◎

柱4：食育活動の推進と連携体制の強化

指標	計画策定時	目標値	実績値	評価
食に関する指導において体験活動を実施する学校（延）	3,179校	4,500校	4,402校	○
食の健康協力店の店舗数	6,389店	8,000店	7,947店	○
地域と連携した食育活動に取り組む組織・団体数	82団体	200団体	360団体	◎
市町食育推進計画の策定率	73.2%(30市町)	100%(41市町)	100%(41市町)	◎

平成29年度の主な取組 ～食で育む元気なひょうご“プラス1の食育実践”～

柱1：若い世代を中心とした健全な食生活の実践

- 料理の基本を学ぶ親子料理教室の開催【兵庫県いずみ会・男女家庭課】
親子を対象に、野菜や魚などの食材から料理を作るなど、料理の基本を学び、食事のバランス、食の大切さへの理解を深める料理教室を開催（H29:38会場）
- 学校教育活動全体で行う食育の推進【体育保健課】
学校の教育活動全体を通じた食育を一層推進するため、「学校における食育実践プログラム（改訂版）」、「食育ハンドブック」及び「ひょうごの食べ物資料集」を活用して、各学校におけるより効果的な食育を実施
- （新）高校生・大学生への食育実践セミナーの開催【兵庫県栄養士会・健康増進課】
食生活上の課題が多い高校生や大学生など若い世代を対象に、自分の健康状態やライフスタイルを考え、健全な食生活の実践に向けたセミナーを開催（H29:2会場）
- 「子ども食堂」応援プロジェクトの実施【生活支援課】
NPO法人や地域住民グループが実施する「子ども食堂」運営事業を県内全域へ拡大するため、立上げ経費を助成（H29:15団体補助予定）



（親子料理教室）



（減塩リーフレット）

柱2：健やかな暮らしを支える食育活動の推進

- （新）健やか食育プロジェクト事業の実施【健康増進課】
健康寿命の延伸につなげるため、市町や地域団体などを通じた、県民への減塩の普及啓発、壮年期の生活習慣病や高齢期の低栄養の予防・改善に向け、地域の食育関係者が連携し、食育推進方策の検討や実践活動を展開
- 「食の健康協力店」の登録と普及啓発【健康増進課】栄養成分表示等取り組み内容の充実
- 食品表示への理解促進、リスクコミュニケーション普及【生活衛生課・消費生活課・健康増進課】
- 災害時の食の備えの普及【健康増進課】



柱3：食や「農」に積極的に関わる活動の推進

- 県産農林水産物学校給食利用促進事業の実施【楽農生活室】
生産者の指導のもと児童・生徒が農業体験を行う等学校給食での食育推進と県産農林水産物の利用向上を促進
- 親子農業体験教室の開催【兵庫みどり公社】
「お米づくり」（田植え、稲刈り、飯ごう炊さん等）や「黒大豆づくり」（苗植え、枝豆収穫、黒大豆収穫等）を親子で行う体験教室を開催（H29：米づくり100家族、黒大豆づくり40家族）
- 魚食普及の推進【県漁連・県漁協女性部連合会等】
魚を自分で調理できる食材として親しんでもらえるよう、料理講習会の開催や大規模小売店での対面販売の促進など、幅広い世代への活動を展開（H29:400回）
- （新）ふるさと料理講習会の開催【兵庫県いずみ会・健康増進課】
子育て世代を対象に、主食・主菜・副菜の揃った日本型食生活や郷土料理、地域の農林水産物を活用した献立を伝える教室を開催（H29:20会場）



（親子農業体験）

柱4：食育推進のための体制整備

- 食の健康運動による実践活動の推進【健康増進課】
「ごはん」「大豆」「減塩」に焦点を当てた「ひょうご“食の健康”運動」のPRや日本型食生活の普及を行うため、食の健康運動リーダーによる実践活動の実施
- ひょうご「食育月間（10月）」の普及啓発【健康増進課】



（H28 絵手紙コンクール知事賞）